

弊社 S R I 業務に関して、新聞紙上において以下のように紹介されております。

2006年10月7日（土）朝日新聞 b e 3面

新市民伝 秋山をねさん インテグレックス社長

「誠実な企業」を応援しませんか

企業の不祥事が相次ぐ日本をどう変えるか。「投資で世直しを」と訴えている。社会への責任を果たす企業を応援するために、人々の投資が集まるようにする。欧米で広がる「社会責任投資」(S R I)という考え方だ。その投資対象企業を選び出す調査会社を01年につくった。企業の資本が入らない中立のS R I調査機関では日本の草分けのひとつだ。慶応大から米国系の証券会社に10年余。米国債のトレーダーだった。出産で退社、離婚。青山学院大大学院で修士号をとって日本の独立系の証券会社に再就職した。S R Iを知ったのはそのときだ。高巖・麗沢大教授の講演を聞いた上司の指示で調べると、目から鱗が落ちる思いだった。「どれだけ稼ぐかより、どう稼ぐか」。高氏らが開発した評価システムは「誠実な企業」かどうかを問う。ウオール街のトレーダーの顔が浮かんだ。ルール違反をしても業績を上げれば評価されるが、長続きはしない。最後に残るのは誠実な人だった。企業も同じだと思った。「社会貢献を掲げる企業も不正に得た資金を使っているなら、いずれだめになる。木に例えれば根っこが大切」会社は上司ら2人と3坪の事務所で始めた。01年から毎年、上場3千社以上を対象に、高氏のシステムに基づく調査をする。投資助言の第1号は04年。今は7ファンド計215億円に増えた。運用成績は東証株価指数より高い。尾瀬の自然保護に運用益の一部を寄付するファンドなど商品の工夫も重要だと考える。「1人1万円でも、多くの人に参加すれば大きな力になる」